

異性に言われてキュンとくる言葉

岡野 美咲 内田 沙耶 牛尾 早希 井上 凜香 尾崎 茉莉亜

要旨

私たちは、日々の生活の中で異性は何気なく発した言葉にときめくことがある。そこで、異性がときめく言葉にはどのようなものがあるのか調べた。その結果、全体的に内面に対する言葉にときめく人が多いことがわかった。

キーワード：異性，言葉

1 序論

私たちが異性に言われてキュンとくる言葉について話していた時，互いに共感する部分も多いが違う部分もある。そこで，異性に言われたい言葉と，好きな異性に好意を示すためにかける言葉との間にはどのような違いがあるのか。また，性別，年齢によってどう異なるのかについて調べた。

2 仮説

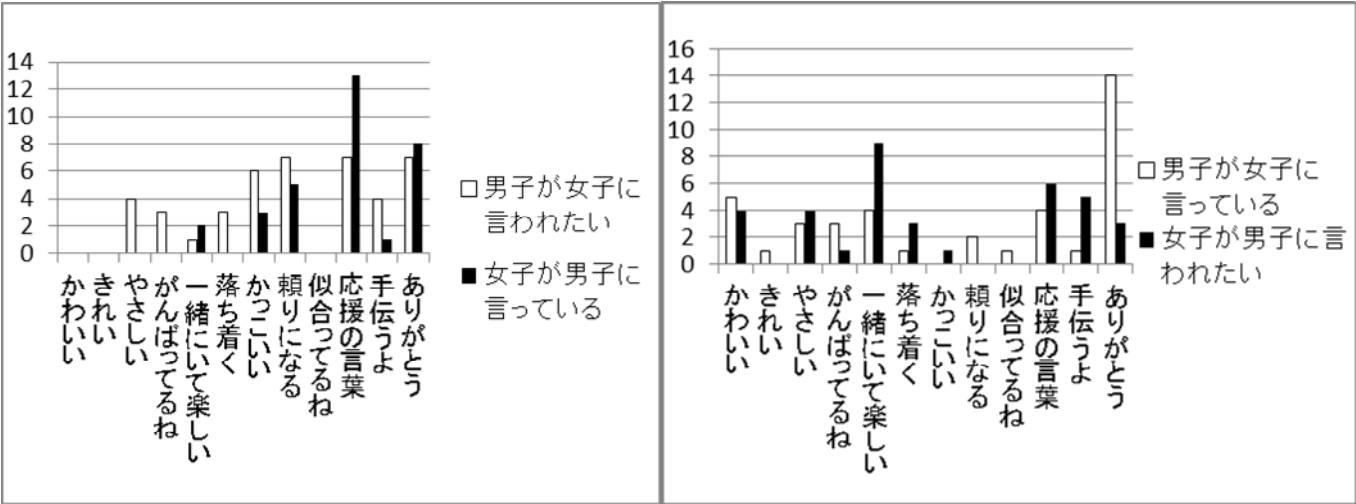
生徒は外見に対する褒め言葉で，先生方は内面に対する褒め言葉でキュンとする。また，女心が分からないと言う一般的イメージから男性は女性が言われたい言葉を使っていない。また，女性は自身の外見を気にするので，男性の外見を褒めたがるのではないかと予想した。

3 調査方法

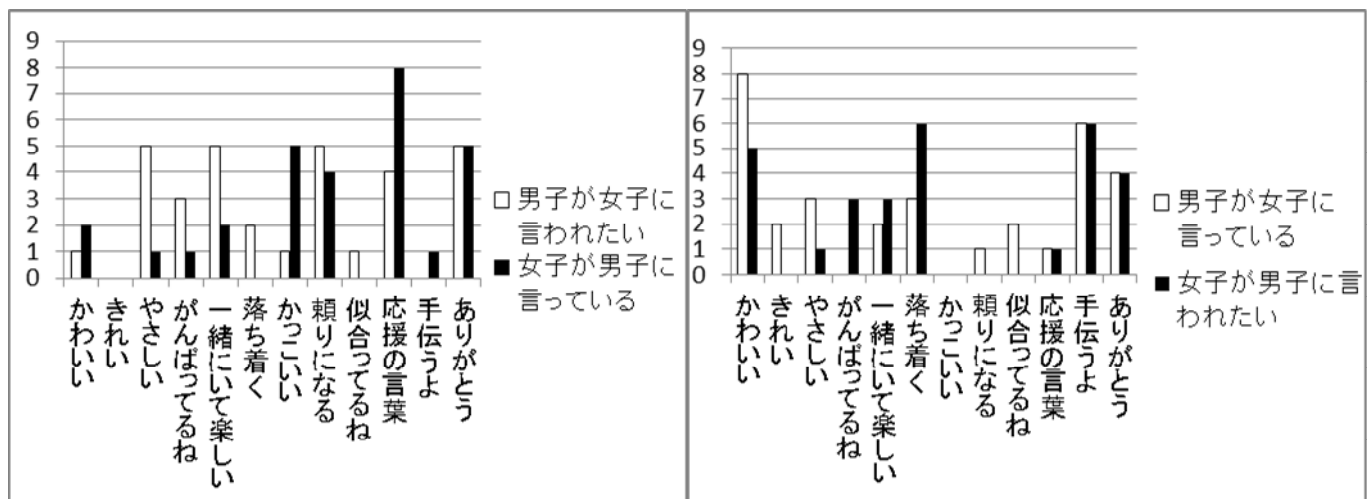
天城中学校の男女1年生80人，高等学校2年次生の男女80人，教職員20人の計120人を対象にアンケート調査を実施（無効アンケート含む）した。

下記のグラフにある10項目の選択肢から異性から言われてキュンとくる言葉と自分が好意をもっている異性に言う言葉を1つずつ選択してもらった。結果を次のグラフに示す。グラフの縦軸は人数である。

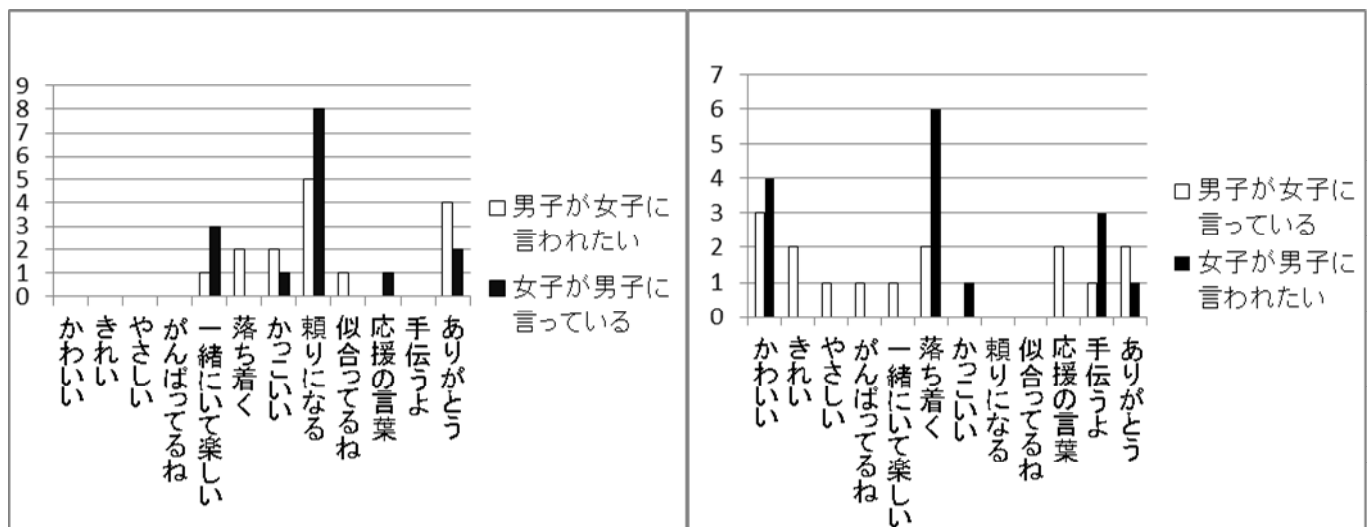
【中学校1年】



【高等学校2年】



【教員】



4 結果

仮説と異なり、中学校1年、高等学校2年いずれも、男女ともに内面を褒められることにキュンとするということがアンケート結果から分かった。一方で、先生は仮説通り内面を褒められることにキュンとするという結果になった。男女の違いの特徴的なものでは、女性が「一緒にいて楽しい」「一緒にいて落ち着く」が言われてうれしいという傾向があるのは存在を認め、受け入れる言葉を必要とし、男性が「頼りになる」が言われてうれしいという傾向にあるのは、自身の存在を認められ、異性に頼られたいという願望があるからであると考えられる。

【参考 web ページ】

- ・ 女と男の心のヘルス (http://www.556health.com/archives/2007/07/post_97.html)